



会員企業をたずねる

女性の力、女性の声

このコーナーは、会員企業をたずね、物流業界で働く女性社員に業務内容や、職場の取り組み、個人の抱負などを語ってもらうコーナーです。



第15回

日本通運株式会社

総務・労働部 ダイバーシティ推進室
課長

武知 紘子さん

PROFILE

2002年入社。東京コンテナ支店に配属、発送業務を担当。2005年厚生労働省に出向、労働関連業務を担当する。2007年総務・労働部労働担当に異動、2010年東京支店（総務）で給与を担当した後、2013年再び総務・労働部労働担当に異動。2017年現職に。東京支店時代、総務・労働部時代に産休・育休を経験した2児の母でもある。現在は短時間勤務制度を利用中。福岡県出身。

社会の変化、従業員の声に傾聴

—ご自身の職場について教えてください。

ダイバーシティ推進室は、多様な人材が能力を発揮できる組織づくりを目指すダイバーシティ推進の専任部署として、今年5月1日に新設されました。女性の活躍推進、グローバル経営人材の採用・育成強化、専門職人材の育成に向けた取り組みを推進していきます。また、そうした取り組みを推進するには、従業員一人ひとりの意識が重要になります。「人材の多様化」や「働き方の多様化」に対する社内の意識の醸成にも取り組んでいく予定です。室長以下4名体制で方向性を合わせながら、さまざまな施策に取り組んでいます。

—現在、力を入れている取り組みについて教えてください。

専任体制である当室が新設されたことで、ダイバーシティに対する社内の意識もより高まってきていると感じています。とはいえ、まだ十分に理解されているとはいえません。そこで第1フェーズとして、まずは社内の現状を知ろうと、全国各地をまわり、現場の実態に関する情報収集を行いました。10月からの第2フェーズでは、その結果を踏まえた施策や制度の実現を目指していきます。従業員の理解促進を目

的にeラーニングやポータルサイトの開設などもスタートする予定です。

一人ひとりの良さを引き出す

—管理職になって意識の変化はありましたか。

当室に異動したのと同時に課長となったため、まだ日が浅く、課長とはどうあるべきか模索しているところです。係長時代は、自分の考えを持ちながらも、最終的な判断は上司にお願いすることになりますが、課長になると自分の考えに責任を持ち自ら判断しなくてはなりません。予想以上に責任あるポジションだと実感しています。また、これまでは上司や同僚をお手本として、何を自分に取り入れていくかに注意が向いていましたが、最近では周囲にいる後輩一人ひとりの良さを引き出すためにはどうしたらいいのだろうと考えるようになりました。そうした意識の変化も課長になったからなのではと思います。

—これまでの経験で印象的な思い出はありますか。

厚生労働省に出向したときのこと、省内には、当時私の身近にいなかった女性管



理職が多く、同年代の女性たちも責任ある仕事をバリバリこなしているのを目の当たりにし、とても刺激を受けました。また、30歳になったときに受けた研修の中で、「子供を持ちながら管理職になる」ことを将来の目標に掲げたのは、出向時代に得た刺激を、今度は社内の後輩に与える立場になりたいと思ったからです。一方で、出向が終わり会社に戻ってからは、自分の仕事ぶりに自信が持てず、「この職場にいられるのは、自分が女性だからなのでは」と悩んだこともあります。そんなときに厚労省時代の先輩が、「会社にとって有益と判断されたのなら、客寄せパンダになったっていいじゃない」とアドバイスしてくれたのです。その一言で肩の荷が下り、自分なりにできることを出し切ろうと思えるようになりました。

時短勤務で効率アップ

——ワーキングマザーとして心掛けていることは何ですか。

子供を持つ前は遅くまで残業することもありましたが、時短勤務中の今はいかに効率的に時間を使うかを心掛けています。育児や家事は夫と協力しながら行っていますが、保育園から急な呼び出しが入り早退することも。一人目のときは職場に迷惑を掛けているかもと考えることもありましたが、二人目が産まれると「育児も仕事も私にとって大切なこと、そんな考えではいけない」と割り切りました(笑)。その分、決められた時間内に終わらせるスキルは高くなったと思います。社内のママたちも皆同じだと思います。



ダイバーシティ推進室の皆さんと



入社当時、
職場の皆さんと

——ワークライフバランスについてのお考えをお聞かせください。

現在は子育て中なので、気持ちの切り替えが大切だと思っています。もっとも、子供のおかげで自然とオンオフを切り替えられるようにもなりました。家に帰ると子供に集中して仕事の悩みは消えてしまいますし、出社すれば家庭のことは忘れ気持ちがリフレッシュします。仕事と育児との両立は大変なことも多いですが、私にとっては良いバランスをとるきっかけにもなっています。私の働く姿を見て、子供ができて当社で働き続けようと思う後輩が増えたらうれしいですね。

——ありがとうございました。

会社概要

日本通運株式会社

本社所在地：東京都港区東新橋1-9-3

設立：1937年10月1日

資本金：701億7500万円

代表者：代表取締役社長 齋藤 充

【事業概要】

自動車輸送、鉄道利用輸送、海上輸送、船舶利用輸送、利用航空輸送、倉庫、旅行、通関、重量品・プラントの輸送・建設、特殊輸送、情報処理・解析などの物流事業全般および関連事業を担う。

世界の国々や地域において、物流を核としたサプライチェーンソリューションを提供し、あらゆるお客様のグローバル展開に貢献する「真のグローバルロジスティクス企業」を目指している。その実現に向け、2016年4月よりスタートした「日通グループ経営計画2018―新・世界日通。―」で重点戦略として掲げている「エリア戦略」と「機能戦略」の遂行に、グループ一丸となって取り組んでいる。

